

生命医科学部
医生命システム学科 アドミッション・ポリシー

I. 医生命システム学科アドミッション・ポリシー

生命医科学部・医生命システム学科は、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドで、医学・生物・物理・化学の複眼的視点から創意工夫をもって課題解決へと導くことのできる技術者、研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

II. 医生命システム学科の求める学生像

1. 生命医科学に関連する基礎医学や工学の専門知識を得るために必要な、自然科学に関する基礎学力を有する学生。
2. 日本語および英語の基本的な読解能力と表現能力を有し、論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたいと希望する学生。
3. 生命医科学に関する様々な問題について幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力を習得したいと希望する学生。
4. 生命倫理、研究倫理についての基本的な理解を得ようとする学生。
5. 国際社会に通用する技術者、研究者となることを希求する学生。

III. 履修しておくことが望ましい教科、科目と水準

1. 英語

高等学校までの教育課程の範囲内で、英語を用いたコミュニケーションに必要とされる理解力と表現力の習得が望ましい。発音、語彙、文法などの細部の把握に加えて、正しい知識に基づいた大局的な理解や豊かな想像力と批判精神を養う英語カリキュラムに対応できる能力を目指すことが望ましい。

2. 数学

高等学校学習指導要領に基づく基本的な数学の知識と技法を習得しておくことが望ましい。生命科学においてあつかう自然現象は、複合的であることが多く、様々な問題の本質を数学的に考え、把握することが必要となる。また、情報の電子化とともに医療分野でも大規模データベースを用いた解析、いわゆるビッグデータの時代に対応するためにも総合的な数学の素養を身につけることが望ましい。

3. 理科

高等学校学習指導要領に基づく基本的な物理、化学、生物の知識を習得しておくことが望ましい。自然現象の本質を見抜く力は、正しい知識に加えて、発見や洞察を行う能力、自然現象を定量的に、また論理的に考察する能力が必要とされる。幅広い好奇心を持ち特定の技術や知識のみにこだわらず総合的に理解する能力の習得が望ましい。

4. 国語

高等学校学習指導要領に基づく基本的な読解力と明確な日本語での表現力の習得が望ましい。特に主体的な経験に基づく日本語の運用能力は、グローバル化時代に最も見直すべき基本的な能力と考えられる。積極的な国語の基本的素養の習得を目指すことが望ましい。